

西田隆義, 本間淳, インドネシアにおける *Bactrocera* 属ミバエ類の生態的防除に関する野外調査, 2018年12月17~24日.

久岡知輝, インドネシアにおける *Bactrocera* 属ミバエ類の繁殖生態に関する野外調査, 2018年9月29日~2019年2月20日.

13. マスメディアへの対応

1) 新聞、雑誌等からの取材による記事
 伴修平 (2018) 京都新聞記事『滋賀ラボ「琵琶湖の水草を資源に」バイオガス発電, 液肥で野菜』, 京都新聞朝刊 22面 (2018年10月22日)
 伴修平 (2018) 中日新聞記事『よみがえれ琵琶湖? 世界湖沼会議を振り返って3, “厄介者”の循環を目指す, オオバナミズキンバイを液肥に』, 中日新聞朝刊 (滋賀中日) 18面 (2018年12月20日)

2) TV、ラジオ番組への出演等

伴修平 (2018) 『6時40分だよ! 知ったかぶりカイトツブリにゆるす「しがエネルギームーブメント! Vol. 24 琵琶湖里湖循環プロジェクト」』, びわ湖放送 (2018年4月3日)
 伴修平 (2018) 『アミンチュチャンネル「しがエネルギームーブメント! Vol. 24 琵琶湖里湖循環プロジェクト」』, YouTube (2018年4月1日)
 小泉尚嗣 (2018) おうみ発 630 しが!!防災応援団「滋賀で地震 あなたの町はどれだけ揺れる?」NHK (2018年5月17日).
 小泉尚嗣 (2018) しが!!防災応援ラジオ「滋賀県での過去の震災」, NHK (2018年5月18日).
 小泉尚嗣 (2018) しが!!防災応援ラジオ「天正地震の教訓」, NHK (2018年10月19日).
 小泉尚嗣 (2019) しが!!防災応援ラジオセレクション「滋賀県での過去の震災」, NHK, (2019年2月11日, 2018年5月18日放送内容の再放送).

3) その他

なし

環境政策・計画学科

1. 受賞

林宰司 (2019) 優秀職員, 滋賀県立大学.
 平山奈央子 (2018) 特別表彰, 滋賀県立大学.
 村上一真 (2018) 特別表彰, 滋賀県立大学.
 村上一真 (2018) 2018年環境科学会優秀研究企画賞 (富士電機賞), 環境科学会, 温暖化抑制施策の効果波及メカニズムの分析.

2. 著書

なし

3. 論文

平山奈央子, 木野剛志 (2018) 琵琶湖における外来魚リリース禁止の認知および遵守に影響を与える要因, 水資源・環境研究 31 (2): 93-100.
 村上一真 (2018) 緑のカーテン普及施策の効果波及メカニズムの分析: 個人の節電行動と行政への信頼に与える影響を中心に, 旭硝子財団 助成研究成果報告 2018, CD-ROM.
 村上一真, 平山奈央子 (2018) 自然環境の価値認識と保全活動意欲に関する構造分析: 早崎内湖を事例として, 環境科学会誌 31 (3): 123-135.
 Murakami, K. and Kimbara, T. (2019) The Relationship between Shareholder Value and International Transfer of Environmental Management Practices, International review of business 19: 57-69.
 藤森真一郎, 大城賢, 白木裕斗, 長谷川知子 (2018) エネルギー技術情報を用いた経済モデルによる日本の長期二酸化炭素排出削減費用の推計, 土木学会論文集 G (環境) 74 (5) I_213-I_222.
 Ken'ichi Matsumoto, Yosuke Shigetomi, Hiroto Shiraki, Yuki Ochi, Yuki Ogawa, Tomoki Ehara (2019) Addressing Key Drivers of Regional CO2 Emissions of the Manufacturing Industry in Japan, The Energy Journal Vol. 40, S11.
 Yosuke Shigetomi, Ken'ichi Matsumoto, Yuki Ogawa, Hiroto Shiraki, Yuki Yamamoto, Yuki Ochi, Tomoki Ehara (2018) Driving forces underlying sub-national carbon dioxide emissions within the household sector and implications for the Paris Agreement targets

- in Japan, Applied energy 228: 2321-2332.
- 白木裕斗, 大城賢, 藤森真一郎, 長谷川知子 (2018) 長期低炭素シナリオ下での電力系統安定化策実施量の推計, 土木学会論文集 G (環境) 74 (5) I_369-I_378.
- Keita Honjo, Hiroto Shiraki, Shuichi Ashina (2018) Dynamic linear modeling of monthly electricity demand in Japan: Time variation of electricity conservation effect, PloS one 13 (4), e0196331, 2018.
- Ken'ichi Matsumoto, Hiroto Shiraki (2018) Energy security performance in Japan under different socioeconomic and energy conditions, Renewable and Sustainable Energy Reviews 90: 391-401.
- Masahiro Sugiyama, Shinichiro Fujimori, Kenichi Wada, Seiya Endo, Yasumasa Fujii, Ryoichi Komiyama, Etsushi Kato, Atsushi Kurosawa, Yuhji Matsuo, Ken Oshiro, Fuminori Sano, Hiroto Shiraki (2019) Japan's long-term climate mitigation policy: Multi-model assessment and sectoral challenges, Energy 167: 1120-1131.
- 高橋卓也 (2019) 生態系サービス (自然の恵み) の経済評価: TEEB の現状と課題, 環境情報科学 (特集: 環境と経済の統合の進展—環境・経済・社会の包括的枠組みにおける環境経済学の展開) 48 (1): 14-19.
- 松下幸司, 高橋卓也, 吉田嘉雄, 仙田徹志 (2019) 2005年・2010年農林業センサスによる生産森林組合の分析—保有山林面積別動向を中心に—, 入会林野研究 39: 60-70.
- 瀧健太郎 (2018) リスクベースの氾濫原管理の社会実装に関する研究—滋賀県における建築規制区域の指定を事例として—, 日本リスク研究学会誌 28 (1): 31-39.
- 瀧健太郎・久保英也 (2019) 関西広域連合における水害リスクファイナンスの概略設計検討経過報告, 彦根論叢 419: 132-144.
- 瀧健太郎 (2018) 氾濫原管理とグリーンインフラ—滋賀県版流域治水の政策的意義—, 水循環 貯留と浸透 109: 4-8.
- 瀧健太郎 (2019) これからの多自然川づくり～中小河川の役割, RIVER FRONT 88: 6-8.
- 花房昌哉・瀧健太郎・秋山祐樹・吉田丈人・一ノ瀬友博 (2019) 滋賀県における立地適正化計画と水害リスクに関する研究—彦根市・東近江市・湖南市を対象に—, 都市計画報告集 17: 378-381.
- 和田有朗, 品川崇 (2018) 一般家庭における食品ロスに関する消費者の意識と行動の関連, 環境情報科学 学術研究論文集 32: 179-184.
4. 作品
- 滋賀県子ども観光パンフレット編集委員会・朝比奈遥・矢野由季子・瀧健太郎 (2019) 滋賀県子ども観光パンフレット「わくわく どきどき」しが探検, 滋賀県観光交流局・公益財団法人びわこデジタルズビューロー.
5. 報告書, その他著作, 一般向け記事
- 1) 科研費他外部研究費による研究の成果報告書
瀧健太郎・平山奈央子 (2019) 一般財団法人河川情報センター研究助成 (29-1), 平成 29 年度研究成果報告書, 水害リスクに応じた地域防災力の向上戦略に関する研究.
瀧健太郎 (2019) 岐阜大学流域圏科学研究センター研究助成 (2018-F-003), 研究成果報告書, Eco-DRR 施設群の性能評価に関する基礎的研究.
- 2) 受託研究等の報告書
林宰司 (2019) パーク・アンド・バスライド選択行動の規定要因の調査・分析, 平成 30 年度彦根市委託研究, 研究成果報告書.
- 3) ハンドブック, 辞典, 図鑑などへの執筆
環境経済・政策学会編 (2018) 『環境経済・政策学事典』. 高橋卓也, 第 5 章 環境問題と資源利用・資源管理 「森林資源の経済学」, 丸善出版, 東京.
- 4) 新聞, 一般向け雑誌等への解説記事など
平岡俊一 (2019) 巻頭言: 学会誌の編集に携わって, 人間と環境 45 (1): 1, 2019 年 2 月 10 日.
平山奈央子 (2018) 琵琶湖流域評価に関する住民と行政の差異, しがの住民と自治 329: 1-5, 2018 年 12 月 15 日.
平山奈央子 (2019) 第 17 回世界湖沼会議に参加して, しがの住民と自治 331: 10, 2018 年 2 月 15 日.
平山奈央子 (2018) 湖沼保全政策はどのように学び合えるのか, 水資源・環境学会ホームページ, 2018 年 12 月 28 日.
香川雄一 (2018) 「自然」の構築と琵琶湖の「自然」. 滋賀県立大学環境科学部 環境科学研究科 年報 22: 10-13.

香川雄一 (2019) かつて「東洋のマンチェスター」と呼ばれた大阪. 滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科コラム (2019年2月25日).

瀧健太郎 (2018) あの豪雨の時, 琵琶湖がためた水の量は約5億トン! 天ヶ瀬ダムの13個分だった?! , 滋賀トコ | 滋賀を自慢したくなるローカルメディア, <https://shigatoco.com/>

6. 学会等への発表

平岡俊一 (2018) オーストリアにおけるローカルアジェンダ 21 の展開動向, 日本環境学会第44回研究発表会, 三重大学 (2018年6月24日).

平山奈央子, 武島のぞみ (2018) 琵琶湖流域の環境評価に影響を与える要因, 第17回世界湖沼会議, つくば国際会議場 (2018年10月15日~2018年10月19日).

井手慎司 (2018) 琵琶湖保全再生法と今後の琵琶湖の保全, 湖沼保護管理・ガバナンスに関する国際学術シンポジウム, 彦根市 (2018年4月27日).

井手慎司 (2018) 琵琶湖保全政策の変遷, 洞庭湖—琵琶湖水生環境シンポジウム, 長沙市 (中国) (2018年11月13日).

Kenji Kamigawara, Shinya Hieda (2018) Legal development for on-site manage; Comparative studies in France, Japan and the UK, 10th International Conference on Biological Invasions (NEOBIOITA 2018), Dublin, Ireland (2018年9月4日~9月7日).

村上一真 (2018) 緑のカーテンの存在が与える影響に関する構造分析, 環境科学会 2018 年会, 東洋大学 (2018年9月10日~9月11日).

白木裕斗, 松本健一, 重富陽介, 榎原友樹, 越智雄輝, 小川祐貴 (2018) 輸送効率を考慮した地域別自動車CO2排出量の要因分解, 第38回エネルギー・資源学会研究発表会, 大阪, (2018年6月10日~11日).

Hiroto Shiraki, Masahiro Sugiyama (2018) Integrated Assessment and Rapid Technological Changes - toward shorter IPCC cycle, International Energy Workshop, G?teborg, Sweden (June 19-21 2018).

藤森真一郎, 大城賢, 白木裕斗, 長谷川知子 (2018) エネルギー技術情報を用いた経済モデルによる日本の長期二酸化炭素排出削減費用の推計, 土木学会 第26回地球環境シンポジウム, 長崎 (2018年9月5日~9月7日).

白木裕斗, 大城賢, 藤森真一郎, 長谷川知子

(2018) 長期低炭素シナリオ下での電力系統安定化策実施量の推計, 土木学会 第26回地球環境シンポジウム, 長崎 (2018年9月5日~7日).

Hiroto Shiraki, Ken Oshiro, Shinichiro Fujimori, Tomoko Hasegawa (2018) Estimation of Flexibility Resources for Power System Stabilization under a Long-term Low Carbon Scenario, 24th AIM International Workshop, Ibaraki, Japan (poster presentation) (November 5-6 2018).

Takuya Takahashi, Takashi Fujiwara (2018) Woodlands for Water and other PES schemes in Japan --- Evaluation and questions for PESFOR-W participants, COST Action CA15206, Action Title: Payments for Ecosystem Services (Forests for Water) , Stavanger, Norway, (2018-7-3 (7-2~7-5)) .

高橋卓也・内田由紀子・石橋弘之・奥田昇 (2018) 農山村において森林に関わる幸福度に影響を及ぼす要因の実証的検討: 滋賀県野洲川上流域を対象として. 環境経済・政策学会大会 2018, 上智大学, 東京都 (2018年9月9日 (9月8日~9月9日)).

石橋弘之・奥田昇・高橋卓也 (2018) 森林に関わる主観的幸福度に影響を及ぼす要因の研究: 流域レベル/上流域レベル調査の比較を中心として. 林業経済学会 2018 年秋季大会, 筑波大学, つくば市 (2018年11月18日 (11月17日~11月18日)).

高橋卓也・内田由紀子・石橋弘之・奥田昇 (2018) 森林に関わる主観的幸福度に影響を及ぼす要因の研究: 流域レベル/上流域レベル調査の比較を中心として. 林業経済学会 2018 年秋季大会, 筑波大学, つくば市 (2018年11月18日 (11月17日~11月18日)).

Katsuya Tanaka, Takuya Takahashi (2019) Landowners' preferences on environmentally-friendly forest management FORMATH OKINAWA 2019, Naha (2019-3-7).

石橋弘之・高橋卓也・奥田昇 (2019) 森林への価値の多様化—野洲川上流域集落の事例から. 第130回日本森林学会大会, 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター 朱鷺メッセ, 新潟市 (2019年3月22日 (3月20日~3月25日)).

Michiya Morisaki, Kentarō Taki, Shunsuke Managi, Yuki Akiyama, Takehito Yoshida, Tomohiro Ichinose (2018) The 9th conference of the International society of Integrated

Disaster Risk Management, Sydney, Australia (2-4 October).

Yumi Yamada, Kentaro TAKI, Takehiro Yoshida, Tomohiro Ichinose (2018) Integrated quantification of flood damage risk and habitat gain potential, , Sydney, Australia (2-4 October).

Masaya Hanafusa, Kentaro Taki, Yuki Akiyama, Takehito Yoshida, Tomohiro Ichinose (2018) A Case Study on the “Location Optimizing Plan” for Implementing Ecosystem-based Disaster Risk Reduction (Eco-DRR) measures in Shiga Prefecture, Japan, Sydney, Australia (2-4 October).

和田有朗, 品川崇 (2018) 一般家庭における食品ロスに関する消費者の意識と行動の関連, 第32回環境情報科学 学術研究論文発表会, 日大会館 (2018年12月17日).

7. 研究会等, 講演会, 特別講義での発表

1) 研究会等における発表

林宰司 (2018) 日本におけるエンドオブパイプ技術とクリーナプロダクション技術政策の全要素生産性, 名古屋大学アジア共創教育研究機構, 第2回「脱炭素社会の実現と持続可能な開発」国際シンポジウム, 2018年12月8日~9日.

林宰司 (2019) An analysis on total factor productivity in Japan under end-of-pipe technology and cleaner production technology policies, 福建師範大学「促進緑色発展中日環境政策比較」国際学術検討会, 中国・福建省福州市, 2019年3月18日~19日.

平岡俊一 (2018) 2018年オーストラリア調査報告, 気候ネットワーク脱炭素研究会, NPO 法人気候ネットワーク, 気候ネットワーク京都事務所, 2018年9月18日.

平山奈央子, 瀧健太郎, 倉橋義廣, 吉川浩一, 富田彩加 (2018) 平成29年度公募型地域課題研究内湖再生における住民参加手法の検討, 平成30年度 近江地域学会研究交流大会, 滋賀県立大学, 2018年12月16日.

瀧健太郎, 清水司, 藤島卓也, 内田慎一, 山下花音, 平山奈央子 (2018) 環境・防災を融合した体験型学習の効果検証——近江八幡市立馬淵小学校の10年間の取組——, 第13回防災計画学研究発表会, 9月24~25日.

山下花音, 平山奈央子, 瀧健太郎, 内田慎一, 清水司, 藤島卓也 (2018) 自治会におけるハザー

ドマップの作成が地域防災力に及ぼす影響, 第13回防災計画学研究発表会, 9月24~25日.

井手慎司 (2018) 国内湖沼における流域内連携の実態, 第17回世界湖沼会議 (いばらき霞ヶ浦2018) 湖沼セッション (国内), つくば国際会議場大ホール, 2018年10月16日.

香川雄一 (2018) 立地適正化計画に関する卒業研究の紹介, 第一回「地方創生」研究会, 滋賀自治体問題研究所, 大津市, 2018年9月11日.

香川雄一 (2018) 彦根市の立地適正化計画について, 第二回「地方創生」研究会, 滋賀自治体問題研究所, 大津市, 2018年10月3日.

香川雄一 (2018) 彦根市立地適正化計画のヒアリングまとめ, 第三回「地方創生」研究会, 滋賀自治体問題研究所, 大津市, 2018年12月25日.

香川雄一 (2019) 彦根市立地適正化計画, 立地適正化計画に関する公開研究会, フェリエ南草津, 草津市, 2019年1月27日.

上河原献二 (2018) オランダテンハーメッテン島における外来ミズキンバイ除去事業, 滋賀自然環境研究会第28回研究発表会, 2018年8月25日.

上河原献二 (2018) オオバナミズキンバイ管理の制度・体制に関する日仏英比較研究, 水陸両生の侵略的外来植物の管理に関するワークショップ, 滋賀県立琵琶湖博物館, 2018年8月28日.

村上一真 (2018) 緑のカーテン普及施策の効果波及メカニズムの分析: 個人の節電行動と行政への信頼に与える影響を中心に, 2018 旭硝子財団助成研究発表会, アルカディア市ヶ谷, 2018年7月31日.

村上一真 (2018) 家庭での節電行動の意思決定および節電効果に影響を与える要因解明の実証研究, びわ湖環境ビジネスメッセ2018, 滋賀県立長浜ドーム, 2018年10月17~19日.

高橋卓也 (2018) テーマ別セッション「③社会が支援する森林管理」コーディネーター. 林業経済学会2018年秋季大会, 筑波大学, つくば市, 2018年11月17日 (11月17日~11月18日).

田中勝也, 高橋卓也 (2019) 森林環境支払いの可能性, 環びわ湖・大学地域連携センター, 科研費研究会, 大津市, 2019年3月1日.

瀧健太郎 (2018) 減災型治水の社会実装とその課題, 琵琶湖淀川流域圏連携交流会総会, 5月20日.

瀧健太郎 (2018) 洪水リスク管理の目標と公共政策的連携, 土地利用・建築規制等の対策に着目した洪水リスク管理の学際的検討, 京都大学防

災研究所一般研究集会, 12月4~5日.

瀧健太郎 (2019) できることからはじめよう水辺の“小さな自然再生”, 第12回淡海の川づくりフォーラム, 2月3日.

瀧健太郎 (2019) The Risk-Based Floodplain Regulation for the Eco-DRR implementation: Experience in Shiga, Japan, 岐阜大学流域圏科学研究センター 第3回流域圏保全研究推進セミナー, 3月5~6日.

中村亮太・瀧健太郎 (2019) 姉川霞堤群および付帯遊水地の有する減災および生態系保全に係る機能評価に関する一考察, 岐阜大学流域圏科学研究センター 第3回流域圏保全研究推進セミナー, 3月5~6日.

2) 講演会

平岡俊一 (2018) 市民参加・協働による持続可能な地域づくり活動の展開, とよなか市民環境会議総会, とよなか市民環境会議, 青年の家いぶき, 2018年6月25日.

平岡俊一 (2018) 環境保全と地域づくり, 北海道教育大学・平成30年度教員免許状更新講習, 帯広商工会議所, 2018年8月8日.

Shun'ichi Hiraoka (2018) Introduction of Renewable Energy under Initiatives by Citizens and Local Communities, JICA北海道2018年度課題別研修, 独立行政法人国際協力機構, JICA北海道, 2018年10月22日.

平岡俊一 (2018) コメント&ミニ講義, 京都府地球温暖化防止活動推進員研修, 京都府地球温暖化防止活動推進センター, キャンパスプラザ京都, 2018年11月27日.

平岡俊一 (2018) 持続可能な地域づくりとエネルギー事業, 島の未来をつくる会—エネルギー自給編, 沖島町離島振興推進協議会, 沖島コミュニティセンター, 2019年2月25日.

平岡俊一 (2019) オーストリアの自治体エネルギー政策を促す支援制度・体制について, 報告会「エネルギー自立を目指すオーストリアの自治体と持続可能な地域づくりのしくみ」, NPO法人北海道グリーンファンド, 札幌市環境プラザ, 2019年3月4日.

平山奈央子 (2018) 地域住民による琵琶湖流域の評価, 平成30年度野洲川沿岸土地改良区地域用水対策協議会, 野洲川沿岸土地改良区事務所, 2018年8月29日.

井手慎司 (2018) 世界湖沼会議 BIWAKO プレ会議および第8回世界水フォーラム報告会, 滋賀県・

国際湖沼環境委員会, 環びわ湖大学・地域コンソーシアム, 2018年8月24日.

金谷健 (2018) 水銀条約をふまえた廃棄物対策の具体化状況について, 蛍光管の適正処理をめざすフォーラム2018, 特定非営利法人コンシューマーズ京都, コープイン京都, 2018年9月11日.

高橋卓也 (2018) 琵琶湖からの発信「森林への想いを次代へつなぐ座談会」, 座長, マリオット琵琶湖, 守山市, 2018年9月27日.

高橋卓也 (2018) 自治体のグリーン購入を推進するための取組についての研究, グリーン調達に関するステークホルダー会合, 国際交流基金日米センター・米国社会科学研究所評議会 (SSRC), 早稲田大学, 2018年12月13日.

瀧健太郎 (2018) 減災型治水の社会実装とその課題, 琵琶湖淀川流域圏連携交流会総会, ウォーターステーション琵琶湖, 2018年5月20日.

瀧健太郎 (2018) 滋賀県の流域治水政策について, チームしが県議団 治水勉強会, 滋賀県立県民交流センター, 2018年8月22日.

瀧健太郎 (2018) できることからはじめよう 水辺の小さな自然再生, 生物多様性勉強会, 大阪府立環境農林水産総合研究所, 2018年9月13日.

瀧健太郎 (2018) 減災型治水システム—社会実装とその課題—, 水研究会, メルバルク京都, 2018年9月22日.

瀧健太郎 (2018) 土砂移動・瀬淵を維持する河道の工夫 ~ 滋賀県での事例から, 平成30年度多自然川づくり研修会, 秋田県建設部河川砂防課, 大仙市役所中仙庁舎多目的ホール, 2018年10月10日.

瀧健太郎 (2018) 減災型治水システム—社会実装とその課題—, 水資源セミナー, 京都大学防災研究所, 2018年10月19日.

瀧健太郎 (2018) できることからはじめよう 水辺の小さな自然再生, うちのまち講座・川づくり編, 与謝野町, 第一部 上地公民館, 第二部 後野地区公民館, 2018年11月3日.

瀧健太郎 (2018) Eco-DRR の社会実装に向けた挑戦~滋賀県の減災型治水システム~, 札幌セミナー, 応用生態工学会, 2018年11月13日.

瀧健太郎 (2018) 滋賀県の伝統治水工法 減災型治水システム, 例会, 大津ロータリークラブ, 2018年11月20日.

瀧健太郎 (2018) 琵琶湖・淀川流域の環境と治水・防災, 研修会, 滋賀県不動産鑑定士協会, 2018年12月17日.

瀧健太郎 (2019) Eco-DRR の社会実装に向けた挑戦～滋賀県の減災型治水システム～, 社内研修会, オリエンタルコンサルタンツ社, 2019年1月7日.

瀧健太郎 (2019) できることからはじめよう水辺の“小さな自然再生”, 第16回川づくりフォーラム, びわこ豊穰の郷, 2019年2月17日.

嘉田由紀子・瀧健太郎 (2019) 滋賀県の治水政策に託す未来 - 政策・計画の視点から, 滋賀県立大学 環境科学セミナー, 滋賀県立大学環境科学部会議室, 2019年3月28日

3) 授業

林宰司 (2018) フィールドワーク調査の方法: 社会調査のケース, 滋賀県立大学・彦根翔西館高校高大連携事業, 彦根翔西館高校, 2018年9月20日.

林宰司 (2018) ゼミ形式による研究指導, 文部科学省スーパーグローバルハイスクール事業, 岐阜県立大垣北高校, 2018年7月11日.

金谷健 (2018) 産業廃棄物の収集課程講習会での講義 (更新講習会: 環境概論), 公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター, くにびきメッセ (2018年8月1日), ピアザ淡海 (2018年11月1日), 京都市サーチパーク (2019年3月6日).

金谷健 (2018) 産業廃棄物の収集・運搬/処分課程講習会での講義 (新規講習会: 中間処理・再生利用), 公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター, 名古屋国際会議場 (2018年7月4日), 岡山商工会議所 (2018年9月5日).

金谷健 (2018) 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬/処分課程での講義 (更新講習会: 中間処理・再生利用), 公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター, 四日市商工会議所 (2018年10月5日).

金谷健 (2018) 特別管理産業廃棄物の収集・運搬/処分課程での講義 (新規講習会: 中間処理・再生利用), 公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター, 大阪私学会館 (2018年10月24日).

白木裕斗 (2018) あなたのミライは低炭素?, 平成29年度滋賀県立高等学校生徒を対象とする大学連続講座 (滋賀県教育委員会主催), 滋賀県立大学環境科学部会議室, 2018年8月1日.

瀧健太郎 (2018) ホテル再生プロジェクト指導, スーパーグローバルハイスクール事業・スーパーサイエンスハイスクール事業, 滋賀県立守山中学校・高等学校, グループ指導.

瀧健太郎 (2018) できることからはじめよう水辺の“小さな自然再生”, 大学連続講座, 滋賀県立大学環境科学部会議室, 2018年8月1日.

瀧健太郎 (2018) 白鳥川総合学習指導, 近江八幡市立馬淵小学校, 2018年9月14日, 10月5日, 10月22日, 10月26日.

Kentaro Taki (2018) GISの応用: 琵琶湖・淀川・大阪湾の流域とその統合的管理に向けて, JICA 研修 ILBM コース, (公財)国際湖沼環境委員会研修室, 2018年11月26日.

和田有朗 (2018) 都市鉱山から2020年東京オリンピック・パラリンピックのメダルをつくることは?, 平成30年度大学連続講座出張講義, 愛知県立豊丘高校, 2018年10月24日.

8. 展覧会等

なし

9. 競争的研究資金の導入

1) 本学特別研究

井手慎司, 香川雄一, 上河原献二, 瀧健太郎, 林宰司, 村上一真, 和田有朗, 平山奈央子. 研究コミュニティ形成促進費, 湖沼保護管理・ガバナンスの日中比較分析, 平成30年度, 100万円.

上河原献二, 伴修平, 須戸幹, 野間直彦, 畑直樹 (2018) 平成30年度滋賀県立大学特別研究, 湖沼周辺における水陸両生外来水生植物管理, 平成30年度, 460.4万円.

2) 科学研究費補助金

平岡俊一, 的場信敬, 木原浩貴. 自治体エネルギー政策を支える中間支援組織の体制整備と機能強化に関する研究, 基盤研究 (C), 平成30~32年度, 120万円.

的場信敬, 平岡俊一, 井上芳恵. 地域再生可能エネルギー事業を支える社会的基盤: 人材, 資金, 支援制度の包括的整備, 基盤研究 (C), 平成28~30年度, 170万円.

安井智恵, 宮前耕史, 平岡俊一. 地域とともにある学校づくりの実質化と地域人材育成に関する調査研究, 基盤研究 (C), 平成28~30年度, 120万円.

宮前耕史, 半澤礼之, 安井智恵, 平岡俊一, 添田祥史. 持続可能な地域づくりに向けた学校内外における協働体制の構築過程に関する調査研究, 基盤研究 (C), 平成28~30年度, 120万円.

井手慎司, 平山奈央子, 佐藤祐一. なぜ連携が起きるのか? - 環境保全活動における多主体連携

の生起要因に関する研究－，基盤研究 (C)，平成 28～30 年度，130 万円。

香川雄一，村田陽平，本岡拓哉。大都市における疾病発生にともなう健康環境問題への人文地理学的貢献，基盤研究 (C)，平成 28～30 年度，24 万円。

村上一真。損失回避性と社会的比較が節電行動に与える影響の違い：ランダム化比較試験による検証，基盤研究 (C)，平成 29～31 年度，80 万円。

高橋卓也，松下幸司，栗山浩一，田中勝也，宮崎淳。社会が支える森林管理を実現する手法開発のための基礎研究，平成 27 年度～30 年度，基盤研究 (B)，169 万円。

和田有朗，中野加都子。エネルギーリテラシー教育プログラムが学習者の環境配慮行動に与える影響の検証，基盤研究 (C)，平成 28～30 年度，72 万円。

3) 政府および地方公共団体(関連法人を含む)からの補助金

林宰司。平成 30 年度彦根城周辺パーク・アンド・バスライド普及分析検討業務，彦根市役所，平成 30 年度，49 万 9,500 円。

4) その他財団からの研究補助金

平山奈央子。住民による自然環境評価と科学的データの差異に関する研究－琵琶湖・淀川流域を対象に－，クリタ水・環境科学振興財団 国内研究助成，2018 年 10 月 1 日～2019 年 9 月 30 日，50 万円。

白木裕斗，藤森真一郎，長谷川知子。電源・技術・経済・土地利用モデルの統合とそれを用いた日本の GHG 大幅削減シナリオの評価，公益財団法人 村田学術振興財団，2018 年 5 月～2019 年 4 月，135 万円。

瀧健太郎，平山奈央子。水害リスクに応じた地域防災力の向上戦略，一般財団法人 河川情報センター，2017 年 11 月 1 日～2018 年 10 月 31 日，229 万円。

和田有朗，中野加都子。携帯情報端末を活用した消費者の環境配慮行動促進のためのエネルギーリテラシー教育手法の開発，(公財)電気通信普及財団，平成 28～30 年度，29.6 万円。

5) 受託研究の受け入れ

なし

10. 研究員の受入

なし

11. 特許，実用新案，品種登録，意匠，その他著作権に関わる事項
なし

12. 社会への貢献

1) 各種委員会

林宰司，彦根市パーク・アンド・バスライド実施協議会，委員，3 回(2018 年 4 月～2019 年 3 月)。

林宰司，認定特定非営利活動法人地球環境市民会議(CASA)，理事 (2018 年 4 月～2019 年 3 月)。

平岡俊一，滋賀県県民生活部指定管理者選定委員会，委員，2 回 (2018 年 7 月～2019 年 3 月)。

平岡俊一，釧路湿原自然再生協議会地域づくり小委員会，委員長代理，1 回 (2018 年 4 月～2019 年 3 月)。

平岡俊一，北海道環境審議会地球温暖化対策部会，専門委員，1 回 (2018 年 4 月～2019 年 3 月)。

平岡俊一，福知山市再生可能エネルギー推進検討会議，座長，1 回 (2018 年 4 月～2019 年 3 月)。

平岡俊一，認定特定非営利活動法人気候ネットワーク，理事 (2018 年 4 月～2019 年 3 月)。

平岡俊一，認定特定非営利活動法人霧多布湿原ナショナルトラスト，理事 (2018 年 4 月～2019 年 3 月)。

平岡俊一，一般社団法人くしろソーシャルデザインネットワーク，代表理事 (2018 年 4 月～2019 年 3 月)。

平山奈央子，淀川水系流域委員会，委員，3 回(2018 年 4 月～2019 年 3 月)。

平山奈央子，近畿農政局 農村振興関係交付金評価委員会，1 回 (2018 年 6 月～2019 年 3 月)。

平山奈央子，河川レンジャー制度運営委員会，委員，2 回 (2018 年 4 月～2019 年 3 月)。

平山奈央子，滋賀県環境審議会，委員，2 回 (2018 年 4 月～2019 年 3 月)。

平山奈央子，滋賀県農村振興交付金制度審議会，委員，1 回 (2018 年 4 月～2019 年 3 月)。

平山奈央子，滋賀県農政水産部建設工事等総合評価審査委員会，委員，1 回 (2018 年 11 月～2019 年 3 月)。

平山奈央子，大津市廃棄物減量等推進審議会，副会長，1 回 (2018 年 4 月～2019 年 3 月)。

平山奈央子，マザーレイクフォーラム運営委員会，委員，3 回 (2018 年 4 月～2019 年 3 月)。

平山奈央子，生活協同組合コープしが できるコトづくり制度助成金審査委員会，委員，1 回 (2018

- 年11月～2019年3月)。
平山奈央子，環境フォーラム湖東，理事，1回
 (2018年4月～2019年3月)。
井手慎司，滋賀県琵琶湖レジャー利用適正化審議
 会，会長，滋賀県琵琶湖政策課，1回(2018年
 4月～2019年3月)。
井手慎司，滋賀県マザーレイク21計画学術フォー
 ラム，委員，滋賀県琵琶湖保全再生課，2回(2018
 年4月～2019年3月)。
井手慎司，マザーレイクフォーラム運営委員会，
 委員，滋賀県琵琶湖保全再生課，5回(2018年
 4月～2019年3月)。
井手慎司，赤野井湾流域流出対策推進連絡会，会
 長，滋賀県琵琶湖政策課，1回(2018年4月～
 2019年3月)。
井手慎司，滋賀県環境学習推進協議会，副座長，
 滋賀県琵琶湖保全再生課，2回(2018年4月～
 2019年3月)。
井手慎司，滋賀県環境こだわり農業審議会，会長，
 滋賀県食のブランド推進課，3回(2018年4月
 ～2019年3月)。
井手慎司，第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦
 2018)湖沼セッション委員会，委員，茨城県環
 境対策課世界湖沼会議準備室，1回(2018年4
 月～2019年3月)。
井手慎司，第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦
 2018)第8分科会検討部会，委員，茨城県環境
 対策課世界湖沼会議準備室，1回(2018年4月
 ～2019年3月)。
井手慎司，近江八幡市環境審議会，会長，近江八
 幡市環境課，3回(2018年4月～2019年3月)。
井手慎司，愛荘町環境審議会，会長，愛荘町環境
 対策課，4回(2018年4月～2019年3月)。
井手慎司，滋賀県琵琶湖環境科学研究センター，
 評議員，滋賀県琵琶湖環境科学研究センター，1
 回(2018年4月～2019年3月)。
井手慎司，国際湖沼環境委員会評議員会，評議員，
 国際湖沼環境委員会，1回(2018年4月～2019
 年3月)。
井手慎司，淡海文化振興財団理事会，理事，淡海
 文化振興財団，2回(2018年4月～2019年3月)。
井手慎司，未来ファンドおうみ運営委員会，委員
 長，淡海文化振興財団，3回(2018年4月～2019
 年3月)。
井手慎司，環境フォーラム湖東，代表，環境フォ
 ーラム湖東，1回(2018年4月～2019年3月)。
井手慎司，NPO法人子どもと川とまちのフォーラ
 ム理事会，理事長，子どもと川とまちのフォーラ
 ム，12回(2018年4月～2019年3月)。
井手慎司，湖辺の環境修復手法検討会(環境省「平
 成30年度琵琶湖保全再生対策調査検討業務」)
 座長，東レテクノ株式会社，3回(2018年4月
 ～2019年3月)。
香川雄一，東京大学空間情報科学研究センター，
 客員研究員，1回(2018年4月～2019年3月)。
香川雄一，近江八幡市環境審議会，委員(副会長)，
 3回(2018年4月～2019年3月)。
香川雄一，近江八幡市環境計画部会，委員(部会
 長)，3回(2018年4月～2019年3月)。
香川雄一，近江八幡市風景づくり委員会，委員，1
 回(2018年4月～2019年3月)。
香川雄一，高島市ごみ処理施設建設検討委員会，
 委員，6回(2018年4月～2019年3月)。
香川雄一，地理空間情報活用推進に関する近畿地
 区産学官連携協議会，委員，1回(2018年4月
 ～2019年3月)。
上河原献二，彦根市環境審議会，会長，2回(2018
 年4月～2019年3月)。
上河原献二，長浜市環境審議会，会長，4回(2018
 年4月～2019年3月)。
上河原献二，琵琶湖外来水生植物対策協議会，構
 成団体(滋賀県立大学環境科学部)代表，大津
 市，2回(2018年4月～2019年3月)。
金谷健，滋賀県環境審議会(廃棄物部会，水・土
 壌・，大気部会，温暖化対策部会，環境企画部
 会)，委員・廃棄物部会長，7回(2018年4月～
 2019年3月)。
金谷健，「クリーンセンター滋賀」環境監視委員会，
 委員長，2回(2018年4月～2019年3月)。
金谷健，「買い物ごみ減量推進フォーラムしが」全
 体会議，座長，2回(2018年4月～2019年3月)。
金谷健，守山市廃棄物減量等推進審議会，委員，
 2回(2018年4月～2019年3月)。
金谷健，野洲市廃棄物減量等推進審議会，会長，1
 回(2018年4月～2019年3月)。
金谷健，湖北広域行政事務センタークリスタルプ
 ラザ管理運営委員会，委員長，1回(2018年4
 月～2019年3月)。
金谷健，湖北広域行政事務センター廃棄物減量等
 推進審議会，会長職務代理者，2回(2018年4
 月～2019年3月)。
村上一真，彦根市工場等設置奨励審査会 委員，彦
 根市商工課，1回(2018年4月～2019年3月)。
村上一真，公契約のあり方検討に係る会議 委員，
 滋賀県会計管理局，2回(2019年1月～2019年
 3月)。

白木裕斗, 東京大学政策ビジョン研究センター, 客員研究員 (リサーチャー), (2018年2月1日～2019年1月31日).

白木裕斗, 国立環境研究所社会環境システム研究センター, 客員研究員, (2018年5月1日～2019年3月31日).

白木裕斗, 東京大学政策ビジョン研究センター, 客員研究員 (リサーチャー), (2019年2月1日～2020年1月31日).

高橋卓也, 近江八幡市廃棄物減量等推進審議会, 副委員長, 委員, 近江八幡市, 3回 (2018年4月～2019年3月).

高橋卓也, 滋賀グリーン購入ネットワーク, 副会長・理事, 滋賀グリーン購入ネットワーク, 4回 (2017年4月～2018年3月).

高橋卓也, 第72回全国植樹祭滋賀県実行委員会, 委員, 滋賀県, 1回 (2018年8月～2022年2月).

高橋卓也, 第72回全国植樹祭滋賀県実行委員会・植樹専門委員会, 委員・委員長, 滋賀県, 3回 (2018年9月～2022年2月).

高橋卓也, 第72回全国植樹祭滋賀県実行委員会・式典専門委員会, 委員, 滋賀県, 1回 (2019年3月～2022年2月).

高橋卓也, 滋賀県地域協議会 (森林・山村多面的機能発揮対策), 副会長, 滋賀県地域協議会, 2018年4月27日.

高橋卓也, ながはま森林マッチングセンター業務推進連絡会議, 委員, ながはま森林マッチングセンター, 2回 (2018年4月～2019年3月).

高橋卓也, リサイクル認定製品懇話会, 委員, 滋賀県, 1回 (2018年4月～2019年3月).

高橋卓也, グリーン調達に関するステークホルダー一会合, コーディネーター, 国際交流基金日米センター・米国社会科学研究所評議会 (SSRC), 早稲田大学, 2018年12月13日.

瀧健太郎, 琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会, 部会委員, 関西広域連合, 10回 (2018年4月～2019年3月).

瀧健太郎, 100年先の将来を見据えた河川のあり方研究会, 公益財団法人リバーフロント研究所, 2回 (2018年12月～2019年3月).

瀧健太郎, 長浜市環境基本計画策定委員会 (長浜市環境審議会小委員会), 委員長, 長浜市, 1回 (2017年2月～2019年3月).

瀧健太郎, 淡海の川づくりフォーラム実行委員会 実行委員長代理, 3回, (2017年4月～2019年3月).

瀧健太郎, 天若湖アートプロジェクト実行委員会,

3回 (2018年4月～2019年3月).

瀧健太郎, 特定非営利活動法人 碧いびわ湖, 理事, 特定非営利活動法人 碧いびわ湖, 10回 (2018年4月～2019年3月).

瀧健太郎, 滋賀県子ども観光パンフレット編集委員会, アドバイザー, 5回 (2018年4月～2019年3月).

瀧健太郎, 滋賀経済同友会 グリーンインフラ研究会, アドバイザー, 3回 (2018年4月～2019年3月).

和田有朗, 高島市環境審議会, 副会長, 1回 (2018年4月～2019年3月).

和田有朗, 彦根市廃棄物減量等推進審議会, 委員, 3回 (2018年4月～2018年10月).

和田有朗, 大津市環境審議会, 委員, 1回 (2018年4月～2019年3月).

2) 学会貢献

林宰司, 環太平洋産業連関分析学会セミナー実行委員会委員 (2018年4月～2019年3月).

平岡俊一, 日本環境学会常任幹事・情宣部部长 (2018年4月～2019年3月).

平岡俊一, 日本環境学会編集委員会副委員長 (2018年4月～2019年3月).

平山奈央子, 第17回世界湖沼会議分科会検討部会委員, 3回 (2018年4月～10月).

平山奈央子, 第17回世界湖沼会議 (いばらき霞ヶ浦2018) 第10回いばらき霞ヶ浦賞審査会 審査委員 (2018年8月).

井手慎司, 環境システム計測制御学会評議員・編集アドバイザー, 環境システム計測制御学会, 2回 (2018年4月～2019年3月).

香川雄一, 地理科学学会会計監査 (2018年4月～2018年6月).

香川雄一, 人文地理学会理事 (2018年11月～2019年3月).

香川雄一, 人文地理学会編集委員会委員 (2018年11月～2019年3月).

白木裕斗, エネルギー・資源学会ワークショップ 幹事 (2014年4月～2019年3月).

白木裕斗, エネルギー・資源学会代議員 (2018年4月～2019年3月).

Takahashi, T. Corporate Social Responsibility and Environmental Management (John Wiley & Sons) Editorial Board Member, (インターネット上で業務に従事) (2018年4月～2019年3月).

高橋卓也 水資源・環境学会理事, 2回, (2018

年4月～2019年3月).

高橋卓也 水資源・環境学会広報委員会委員 (インターネット上で業務に従事), (2018年4月～2019年3月).

高橋卓也, 『水資源環境研究』編集委員会委員, (インターネット上で業務に従事), (2018年4月～2019年3月).

Takahashi, T. MC (Management Committee) Observer to COST Action CA15206 (Payments for Ecosystem Services (Forests for Water)). European Cooperation in Science and Technology (COST) (2018年4月～2019年3月).

高橋卓也, 林業経済学会評議員, 2回 (2018年4月～2019年3月).

高橋卓也, 総合地球環境学研究所共同研究員 (研究課題: 生物多様性が駆動する栄養循環と流域圏社会-生態システムの健全性). (2018年4月～2019年3月).

瀧健太郎, 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所 共同研究員, 2回 (2017年6月～2019年3月).

瀧健太郎, 世界湖沼会議 第9分科会 第2セッション ILBMと湖沼流域ガバナンス1 座長, 1回 (2018年10月16日).

3) 国際貢献・海外調査など

井手慎司, 香川雄一, 金谷健, 上河原献二, 白木裕斗, 高橋卓也, 瀧健太郎, 林宰司, 平岡俊一, 平山奈央子, 村上一真, 和田有朗, 湖沼保護管理・ガバナンスに関する国際学術シンポジウム, 2018年4月27日.

井手慎司, 香川雄一, 金谷健, 上河原献二, 白木裕斗, 高橋卓也, 瀧健太郎, 林宰司, 平岡俊一, 平山奈央子, 村上一真, 和田有朗, 琵琶湖・洞庭湖湖沼流域保護管理法制度研究会, 2019年1月18日.

平岡俊一, 欧州 (特にオーストリア) における地域エネルギー・ガバナンスに関する調査, 2018年8月24日～9月10日.

井手慎司, Conservation and Citizen activities for Environment, JICA 統合的流域 (河川・湖沼・沿岸域等) 管理による水資源の持続可能な利用と保全, (財) 国際湖沼環境委員会, (財) 国際湖沼環境委員会, 2018年11月16日.

井手慎司, Introduction to Lake Modeling, JICA 統合的流域 (河川・湖沼・沿岸域等) 管理による水資源の持続可能な利用と保全, (財) 国際湖沼環境委員会, (財) 国際湖沼環境委員会, 2018

年11月30日.

香川雄一, 香港における健康環境問題の調査, 2018年11月16日～11月19日.

上河原献二, イギリスにおける侵略的外来水辺植物管理制度の調査, 2018年9月8日～12日.

高橋卓也, ベトナム森林事情+旅行記など, 滋賀県立大学人間学「アジア・フィールド実習I, II」事前学習会講義, 2018年10月23日.

13. マスメディアへの対応

1) 新聞, 雑誌等からの取材による記事

廣川能嗣, 井手慎司, 林宰司. 法学院挙行中日湖泊 (洞庭湖-琵琶湖) 治理法律政策研究中心検討会, 湖南師範大学新聞網, <http://news.hunnu.edu.cn/info/1469/36235.htm>, 2018年11月17日.

平山奈央子 (2018) 世界湖沼会議を振り返って, 中日新聞, 2018年12月21日.

井手慎司 (2018) 湖南省に湖沼政策拠点. 京都新聞, 2018年11月24日.

村上一真 (2018) 節電薄れゆく意識, 西日本新聞, 2018年6月24日.

瀧健太郎 (2018) 湖国はいま ②大戸川ダムの行方凍結見直し 近づく判断, 京都新聞, 2018年5月30日.

瀧健太郎 (2018) 西日本豪雨の衝撃, 日経コンストラクション, 2018年8月13日.

瀧健太郎 (2018) 生きものいっぱい川づくり講座, 毎日新聞 (地方版), 2018年11月10日.

瀧健太郎 (2018) さらば災害リスク, 日経コンストラクション, 2018年12月10日.

瀧健太郎 (2018) あの豪雨の時、琵琶湖がためた水の量は約5億トン! 天ヶ瀬ダムの13個分だった?! , しがトコ, 2018年8月3日.

2) TV, ラジオ番組への出演等

なし

3) その他

なし

環境建築デザイン学科

1. 受賞

芦澤竜一 (2018) INTERNATIONAL ARCHITECTURE AWARD 2018 FIRST AWARD, ARCHITECTURE PODIUM,